

あ と が き

ここまで読んでくださってありがとうございます。今回「四国防災八十八話」の漫画化を担当させていただきました、愛媛大学漫画研究会です。

今回は私たちの描いた漫画が一冊の本となり、防災教育の教材として多くの人の目に触れるという大変光栄なお話をいただいて、部員一同精一杯頑張らせていただきました。

作品を作っていく上で難しかったことは、災害のシーンの描き込み：もちろんですが、災害の恐ろしさ、防災意識を持つことの大切さを伝えることと、漫画としての面白さを一つの作品の中で両立させていくことに一番苦心しました。そのため、各作品中で一部原作・事実と異なる描写、表現がありますが、物語としての面白さを優先したためであり、お話の元となったいたましい災害に遭われた方々を貶める意図はまったくなく、ご理解いただきたいと思っています。この本を通して読者の皆さんに防災活動の大切さとともに、漫画という文化の素晴らしさについても再認識していただければ幸いです。

最後に、鳥居先生をはじめとする今回の企画でお世話になったすべての関係者の方々にこの場を借りて心から御礼を申し上げます。

まんが 四国防災ばなし
～四国防災八十八話～

平成二十一年一月三十日発行

企画・発行

愛媛大学防災情報研究センター

〒七九〇-八五七七 松山市文京町3番

監

修

愛媛大学防災情報研究センター

副センター長 鳥居 謙一

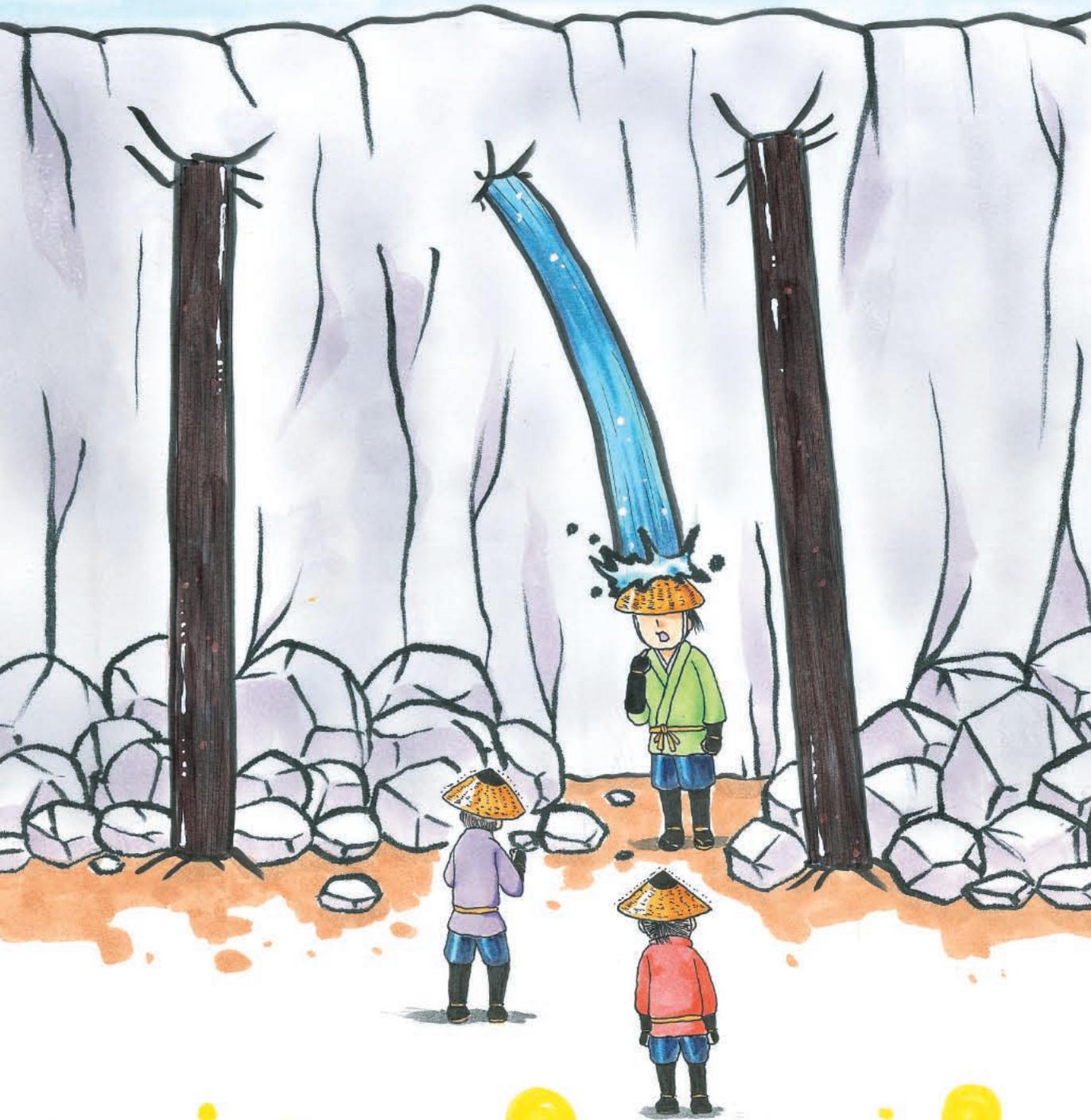
編集・制作

愛媛大学漫画研究会

印刷・製本

セキ株式会社

(河川整備基金助成)



企画・発行 愛媛大学防災情報研究センター
編集・制作 愛媛大学漫画研究会